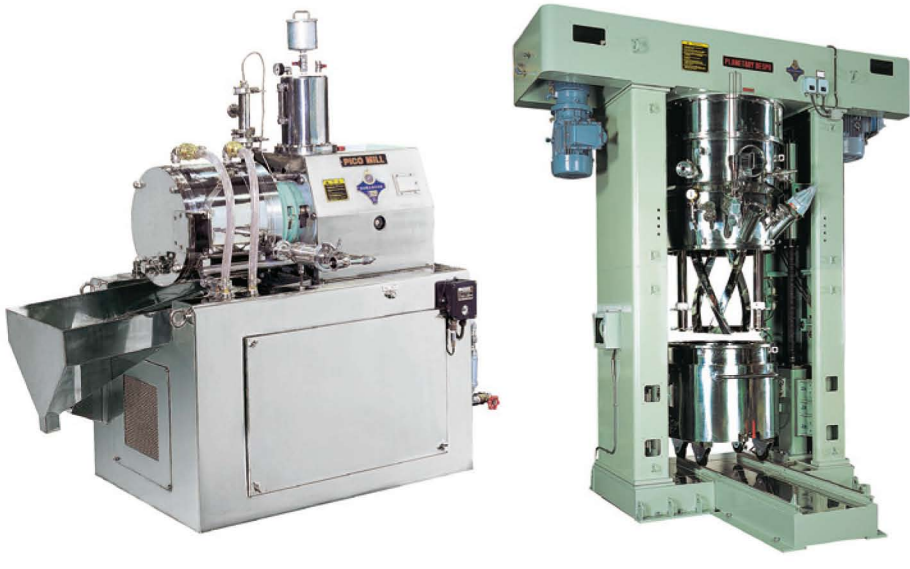


工業用攪拌機と分散機の リーディングカンパニー

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



微分散機「ピコミル」(左)、混合混練機「プラネタリーデスバ」(右)

業務内容
塗料・インクの攪拌から
電子部品の原料処理まで

リチウムイオン電池の電極材料製造分野においては、シェアが約7割にも及ぶ等、工業用攪拌機・分散機の市場で圧倒的な存在感を放つ浅田鉄工。

携帯電話やスマートフォン一つをとっても、高い質感にするための特殊塗料、液晶ディスプレイの画質を左右するカラーフィルター、長時間使用を可能にするリチウムイオン電池、ノイズ対策・電源安定・回路保護等のために多数用いられる電子部品等と、同社の機械が活躍する均質液体材料の活用領域は多岐にわたっている。

強み
0.05mmの微小メディアに
対応する高性能分散機

攪拌機に比べ、より細かいオーダーでの均質化が求められる分散機では、セラミックやガラス製のビーズをメディアとして用いることが多い。メディア微小化により高い分散能力が期待できるが、混合物とメディア分離の問題等、技術的ハードルも高くなる。

同社の主力機「エコミル」は、攪拌ローターとビーズ分離部を別駆動にすることで、各々を最適な回転数で運転することを可能とし、0.05mmもの微小メディアでも安定稼働が可能。極めて高度な分散度合いが要求される電子部品の原料処理等に利用されている。

技術力
先進企業からのニーズと
相談に応える技術開発陣

クライアントに日本を代表する企業が並ぶ同社。従業員120人の内、30

人近いメンバーが、開発部及び設計を中心とした技術部に所属している。顧客ごとに出される要望に応じてきめ細かいカスタマイズを行うのはもちろんだが、日本のハイテク産業を担う企業から出される、極めて難易度の高いニーズや相談にも対応している。

すぐにビジネスにはならない案件も含め、こうした問題から逃げずにクライアントと一緒に

なって実験を行い、解決を目指す姿勢が高く評価されている。



高槻本社

新製品
画期的機能を備えた
新たな製品群をリリース

平成24年、同社は「ゼロミル」「レボミル」「タフミル」という3種の新製品をリリースした。

ゼロミルはメディアを使うことなく高いせん断速度を実現した機種。レボミルは分散ローターだけでなく分散容器を回転させることで、超微小メディアによるソフト分散と高流量運転を可能にした。タフミルは高度なメディア循環機構と冷却機構を設けることで極めて高粘度のスラリーをも分散化できる。

今後も「混ぜる」機能に特化し続けることで、革新的な製品を提供していく構えである。

COMPANY PROFILE

浅田鉄工株式会社

ISO 9001
ISO 14001

当社の
歴史

当社は明治38年、浅田朝次郎が大阪市北区浪花町で創業しました。草創期は染色機械等を扱っていましたが、昭和30年代に、塗料を混ぜるための攪拌機を手掛けたことから現在の事業が始まり、その後、電子部品やリチウムイオン電池等へ対象分野を広げていきました。今では、当社の機械が使用されるラインやプラント全体の設計も含めた総合的な支援を行っています。